

メッセージに込められた後輩への思い

2年生のみなさんは心に何を刻むのだろうか

グローアップ

伊達中学校
2学年だより
第43号
文責
2学年主任
引地 一義



三月十三日（水）、八十七名の卒業生が伊達中学校を巣立っていきました。卒業生のみなさんが、後輩に向けて残したメッセージが、一階の掲示板に貼られています。今回は、その中から紹介します。

（〇の文は原文まま）

〇部活とか委員会とか、いろいろ一緒にできて楽しかったです。たいへんなことたくさんあると思うけど、頑張ってね！

〇勉強は今からやっておきなさい。

〇卒業まで本当にあつという間でした。勉強も部活も頑張っってください。

三月十一日（月）、六校時の道徳の時間に、各学級で東日本大震災を振り返る授業を行いました。三階には、図書室担当による「東日本大震災特別展示」があります。二年生の生徒のみなさんは、東日本大震災当時、一歳の展示や道徳の時間を通して、記憶にはない当時の様子とこれまでの東北地方や福島



東日本大震災への祈り

さい。そして、これから受験生になる人たちが応援しています。残りの中学校生活を楽しんでください。〇少し頑張っ勉強した方がいいよ。三年生になるとだいぶきつくなるから。一年生はあと二年間、二年生はあと一年間楽しんでください。

〇時間はあつという間に過ぎてしまつので、今を大切に勉強、部活を頑張ってください。後悔のないように！

〇本当にあつという間の三年間なので「今」を大切に過ごしてください。応援しています。

〇今までありがとう！部活も勉強も目標に向かってあきらめずに頑張ってください。

〇勉強頑張れ・・・マジで・・・。

〇人には優しく、自分に厳しく、愛をもつて接する。あとは夢に向かって翔ぶだけ。

後輩である二年生のみなさんは、卒業生の思いを受けとめ、これからの生活の中に生かしていくものと思います。

県の復興への道のりを知ることができたのかと思います。

あれから十三年。震災の記憶の風化が心配されていますが、私たちに、これからも復興へ向けた取り組みを続けることにも、災害への備えと震災での教訓を胸に、十三年前の出来事を忘れることなく、次の世代に伝えていくことが必要なのだと思います。



春は間近かに

まだ寒い日が続きませんが、

陽当りの良い

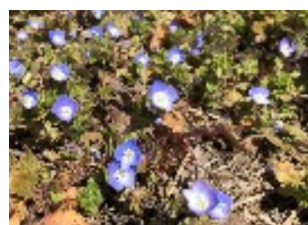
場所ではオオ

イヌフグリ

が、ちいさな

青色の花を咲かせています。ヨロロ

パ原産のオオハコ科、別名「星の瞳」と呼ばれています。



最近の出来事

三月七日（木）、

華道・茶道部の

校内茶会が行わ

れました。部員

や参加した生徒

も、緊張した表

情で茶会道に臨みました。

三月十一日（月）、修学旅行USJ

の班の再編とおよその行動計画を立て

ました。



来週の予定

3月20日（水）春分の日

3月21日（木）B日程

3月22日（金）修了式

部活動なし

11:15下校予定

※ロッカー内の荷物は、全部持ち帰りになります。